

# 施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
産業部	橋本 裕徳	63-7625 (農林資源室)

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	1	良好な地域環境づくり
	施策	2	<b>自然環境</b>

## 1. 施策の基本方針

Plan

- ・水と緑の豊かな自然を守り育て、人と自然が共生する潤いのあるまちづくりを進めます。
- ・山林や農地、河川や水路などの適正な管理や自然とのふれあいの場づくりなど、多様な地域や人々と連携して進めます。

## 2. 目標

### 重点目標

Plan

- ・人と自然との共生から生まれる憩いや潤いのあるまちづくりの推進を図るため、農山村地域と市街地域が交流を進めながら取り組める里山保全などの活動を推進します。
- ・国県事業を活用し、現在実施している地域ぐるみの取り組みの継続を図るため、効果的な事業の研究や把握に努めます。
- ・自然環境という地域資源を市民が認知し保護する活動を推進するため、各種団体による自然環境の保全につながる活動を支援していきます。

### 目標達成に向けた課題

Plan

- ・農山村の高齢化や不在村化、従事者の減少などの原因により、農地や森林の荒廃が進行しているため、国・県事業を活用し、対策を講じていきます。
- ・化学肥料や農薬等の使用による環境への負荷が課題となっているため、国・県事業を活用し、対策を講じていきます。

### 施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
身近な自然環境(田園や里山、森林等を含む)の保全や適正な管理・活用に関心のある市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	75.0	77.0	0%
	成果	73.2	75.4	71.7	69.0			
市民農園の利用が、地域住民との交流のきっかけになったと答えた人の割合 (%)	目標	-	-	-	-	20.0	22.0	0%
	成果	18.0	15.8	-	-			
水田を活用した景観作物の植栽面積【延べ値】(ha)	目標	-	-	-	-	2.8	3.1	100%
	成果	2.5	2.1	1.8	4.5			

## 3. 取組内容

### 課題解決への取組内容

Do

- ・耕作放棄地対策として、市民農園制度の充実を図ることで、良好な田園環境の維持に努めました
- ・環境に配慮した農業を行う農業者を支援することで、自然環境の保全に努めました。

### 地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・地域が事業主体となった中山間地域や農村地域及びその周辺地域を対象とした事業に取り組むことで、地域ぐるみでの農村環境の保全に努めました。
- ・耕作放棄地対策として、地域と連携して市民農園事業に取り組みました。

## 4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 3 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名 (事業名の 印は、市長の重点施策事業を示しています)		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
	2010 (H22)	2011 (H23)					
1100	市民農園運営・整備事業	農林資源室	788	525	継続(事務改善)	B	B
1101	市民農園等管理事業 (緊急雇用創出事業)	農林資源室	1,841	1,555	H24完了予定	B	B
1207	環境保全型農業直接支援対策事業	農林資源室	-	170	継続(現行)	B	B
合計(単位：千円)			2,629	2,250			
小計(うち、一般会計分)			2,629	2,250			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

## 5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然環境の保全や適正な管理に関心のある市民の割合は年々減少を続けており、里山などの農村環境の保全に対する市民意識は向上していないことが伺えます。一方で、景観作物の作付面積は向上しており、農山村景観の向上が地域によって図られていると推測されます。これらから、地域での農山村環境の保全に向けた取り組みは図られているにもかかわらず、取り組みの内容が関係者等に浸透していないことを表していると考えられ、取組方法等の検討が必要です。</li> <li>市民農園の運営は国県事業による緊急雇用対策を活用し、適切に管理が図られました。しかし、その効果を成果として表せる指標が必要です。</li> </ul>

## 6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<ul style="list-style-type: none"> <li>里地・里山の保全など、農村環境の保全に向けた取り組みは、自然環境の保全のみでなく災害の防止などにも役立つことから、農業者だけではなく地域ぐるみ、市民ぐるみでのきめ細やかな取組を進めます。</li> <li>市民農園の管理・運営については、農園利用者が自主的に行うことにより意識の向上を図り、地域との関わりを持てるような取組が必要です。また、このような取組の成果を表わすため、市民農園利用者へのアンケートを実施します。</li> </ul>
--

## 7. 総合評価

評価
C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる
評価理由及びその他(意見)
<ul style="list-style-type: none"> <li>重点目標について、総合計画の施策展開との整合を図る必要がある。</li> <li>施策の効果的な推進を図るための課題、重点事業などを明確化する必要がある。</li> </ul>